

# 栃木県循環器病対策推進計画(2期計画)概要

【令和6(2024)年度～11(2029)年度(6年間)】

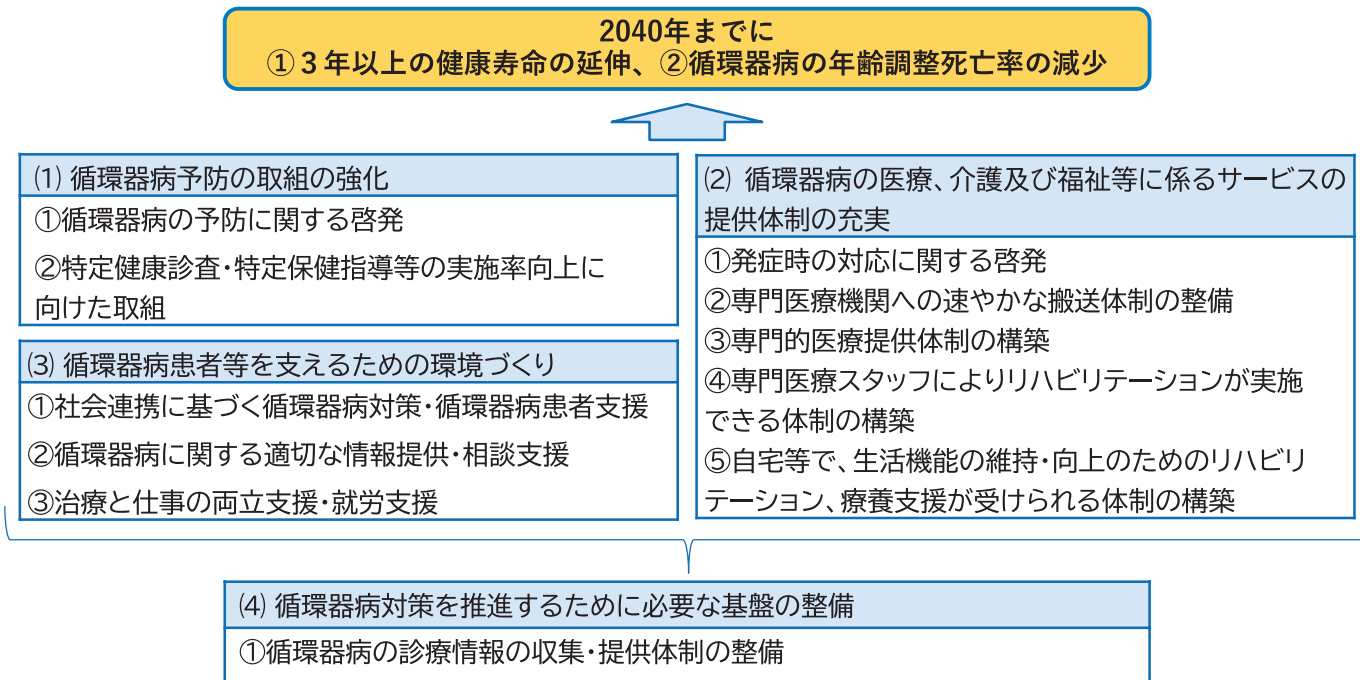
## 計画の趣旨

「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法(以下「基本法」という。)」に基づき、「栃木県循環器病対策推進計画(2期計画)」を策定し、循環器病対策の総合的かつ計画的な推進を図る。

## 計画の基本方針

「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指す

## 基本的枠組み



## 重点取組事項

- ア 循環器病の予防に関する啓発  
高血圧予防・心臓血管の健康に関する啓発の強化
- イ 専門的医療機関への速やかな搬送体制の整備  
病院前救護体制の強化
- ウ 専門的医療提供体制の構築  
急性期医療に係る病院間連携の促進
- エ 自宅等で、生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション、療養支援が受けられる体制の構築  
病期に応じたリハビリテーションに係る人材育成  
在宅療養の推進に係る体制整備
- オ 治療と仕事の両立支援・就労支援  
治療と仕事の両立及び就労(復職)ができる環境の整備

計画本体はコチラ→



# 主な指標

※栃木県の健康増進計画(とちぎ健康21プラン(2期計画))の目標値  
 なお、令和7年度からの次期健康増進計画を踏まえ目標値との調和を図る

最終アウトカム		項目	計画策定時	目標値等
1	循環器病の年齢調整死亡率が減少している(人口10万対)	脳血管疾患	男性119.7人 女性74.5人	全国値以下
		脳梗塞	男性61.8人 女性36.8人	全国値以下
		心疾患	男性213.0人 女性118.2人	全国値以下
		虚血性心疾患患者	男性112.7人 女性50.5人	全国値以下
		大動脈瘤及び解離患者	男性16.9人 女性11.0人	全国値以下
		心不全患者	男性61.6人 女性42.0人	減少
2	循環器病の患者が自分らしい生活ができる	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	57%	65%以上
		脳血管疾患の平均在院日数	76.2日	減少
		退院時機能障害(mRS)が2~5であった患者の割合	60.5%	減少
		在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	93.0%	100%
		在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	80.9%	増加
		心血管疾患の退院患者平均在院日数	17.1日	減少
		虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	7.2日	減少
中間アウトカム		項目	計画策定時	目標値等
1	脳卒中の発症及び再発が予防できる心血管疾患の発症予防及び発症後の管理ができる	脳卒中発症登録に占める再発者の割合	23.2%	20%以下
		収縮期(最高)血圧の平均値	128.9mmHg	127mmHg以下※
2	患者が早期に疾患に応じた専門的な診療が可能な医療機関に到着することができる	脳卒中発症後3時間以内に受診した患者の割合	38.3%	50%以上
		現場到着から医師引継ぎまでに要した平均時間	38.8分	減少
3	患者の来院後速やかに初期診療を開始するとともに、疾患に応じた専門的な治療が受けられる	脳梗塞に対するtPAによる血栓溶解療法の実施件数	県北*,県西*,宇都宮69 県東*,県南88,両毛24	増加
		PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通件数	県北68件,県西15件 宇都宮130件,県東* 県南225件,両毛44件	増加
4	患者が入院時から在宅へ復帰までの継続したリハビリテーションが受けられる	脳卒中発症後3日以内にリハビリテーションを実施した患者の割合	80.3%	増加
		入院心血管リハビリテーションの実施件数	4,222件	増加
5	日常生活への復帰、生活機能の維持・向上のための治療及びリハビリテーションを受けることができる	訪問診療を受けた患者数(1か月あたり)	7,900人	9,088件
6	よりよい社会生活を送るための社会連携体制が構築され、必要な支援を受けることができる	脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	40件	増加
		脳卒中患者における地域連携クリティカルパスの実施件数	調査中	増加
		心血管疾患における介護連携指導の実施件数	1,153件	増加
		心血管疾患患者における地域連携クリティカルパスの実施件数	調査中	増加

栃木県保健福祉部健康増進課 〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20

TEL 028-623-3096 FAX 028-623-3920 E-mail kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp